

研究課題「中学生を対象とする心理的レジリエンスを培う授業の効果検証」

へのご参加のお願い

1. この研究の内容

【研究課題】

中学生を対象とする心理的レジリエンスを培う授業の効果検証 (審査番号: 2019326NI)

【研究所の名前と研究責任者】

この研究が行われる研究所と研究責任者は次に示すとおりです。

研究所 東京大学大学院医学系研究科・精神医学分野

研究責任者 岡田 直大 (東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構・特任准教授)

データを集め、どなたの情報かが分からぬようしてから、保存し、解析します。

【東京大学といっしょに研究している研究所】

信州大学学術研究院教育学系

【研究目的】

思春期の時期は、からだの成長だけでなくこころの成長にとっても、とても重要な時期です。つらいことに対応する力をレジリエンスと言いますが、思春期の皆さんのがレジリエンスを高めることにより、こころの健康な成長につながる可能性があります。したがって、すべての思春期の皆さんにとって役立つよ

たか ほうほう つく たいせつ わたし かんが
うな、レジリエンスを高める方法を作りだすことが大切と私たちは考えています。

わたし どうきょうだいがく ちゅうがくせい みな たか じゅぎょう つく
そこで私たち東京大学では、中学生の皆さんのために、レジリエンスを高める授業を作りました。

じゅぎょう みな がっこう じゅぎょう ぎょうじ おこな けんきゅう じゅぎょう ぜんご せいと
この授業は、皆さんの中学校の授業または行事として行われます。この研究では、授業の前後に生徒

みな かんたん こた こた じゅぎょう やくだ
の皆さんに簡単なアンケートに答えていただき、アンケートの答えのデータをもとに、授業が役立つかどう

じら
うかを調べます。

【研究方法】

けんきゅう さんか ちゅうがっこう どうきょうだいがく つく たか じゅぎょう おこな
この研究に参加する中学校で、東京大学が作ったレジリエンスを高める授業が行われます。こ

じゅぎょう がっこう じゅぎょう ぎょうじ けんきゅう さんか せいと けんきゅう さんか
の授業は、学校の授業または行事です。したがって、研究に参加する生徒さんも、研究に参加しない

せいと みな じゅぎょう う こんかい けんきゅう じゅぎょう やくだ
い生徒さんも、皆さんのがこの授業を受けることになります。今回の研究では、この授業が役立つかどう

じら せいと みな じゅぎょう ぜんご こた
かを調べるために、生徒の皆さんには、授業の前後にアンケートに答えていただきます。

2. 研究に参加する自由

けんきゅう さんか じゅう じぶん き けんきゅう きょうりょく ばあい
この研究に参加するかどうかは、ご自分で決めてください。もし研究にご協力いただかない場合で

みな こま いっさい けんきゅう さんか あと せいと みな きぼう
も、皆さんのが困ることは一切ありません。また、研究に参加した後でも、生徒の皆さんからのご希望があ

こた しおりきょ しおりきょ ほ きぼう
れば、アンケートの答えのデータをいつでも消去します。ただし、データを消去して欲しいというご希望

つか はじ ばあい ばあい しおりきょ ほ きぼう
があったとき、データがすでに使われ始めている場合があります。この場合は、データを消去することが
できません。

3. 情報の守りかた

アンケートの答えは、関係のない人に伝わることがないよう、大切に取り扱います。また、どなたの

情報かが分からぬようして、パスワードのかかるパソコンで、大切に保存されます。

4. 研究結果の発表・お知らせ

研究の結果は、どなたの情報かが分からぬようして、発表されます。また学校全体の結果を、学校

に伝えることがあります（生徒さんお一人お一人のアンケートの答えは、学校に伝えません）。なお、研究

に参加されたそれぞれの生徒さんやその保護者の方に対して、お知らせできる情報はありません。

5. 良いことと困ること

この研究が、生徒の皆さんにとって、すぐに良いことにつながる可能性は高いとはいえない。

この研究の結果は、将来的に、中学生のレジリエンスを高めることに役立つ可能性があります。アン

ケートでは、研究に必要な質問をさせていただきます。また、この研究に参加して困ることはほとんど

ありませんが、アンケートの回答を続けることができなくなった場合には、途中で回答を止めてもかまいません。

6. 研究終了後の情報の扱い方

生徒の皆さんから集めた情報は、東京大学や東京大学といっしょに研究している研究所で

大切に保存し、この研究のためだけに使います。また、研究終了後5年後までに、消去いたします。

7. 参加するための費用

けんきゅう さんか ひょう
この研究に参加するのに、費用はかかりません。

8. 研究の結果の権利

けんきゅう けっか けんきゅうしゃ せいと みな ほごしゃ かた
研究の結果は研究者のものとなります。生徒の皆さんや保護者の方のものではありません。

9. その他

けんきゅう とうきょうだいがく きよか
この研究をおこなうことを、東京大学から許可されています。

けんきゅう しんぱい ほごしゃ かた そうだん
この研究について、わからないことや聞きたいこと、心配なことがありましたら、保護者の方に相談し
たり、私たちに聞いたりしてください。

2020年9月16日

けんきゅうせきにんしゃ おかだ なおひろ
研究責任者：岡田 直大

れんらくたんとうしゃ おかだ なおひろ
連絡担当者：岡田 直大

とうきょうだいがくだいがくいんいがくけいけんきゅうか せいしんいがくぶんや
東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野

とうきょうとぶんきょうくほんごう
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

でんわ
電話：03-5800-9263 / ファックス：03-5800-6894

メールアドレス：resilienceschoolresearch@gmail.com